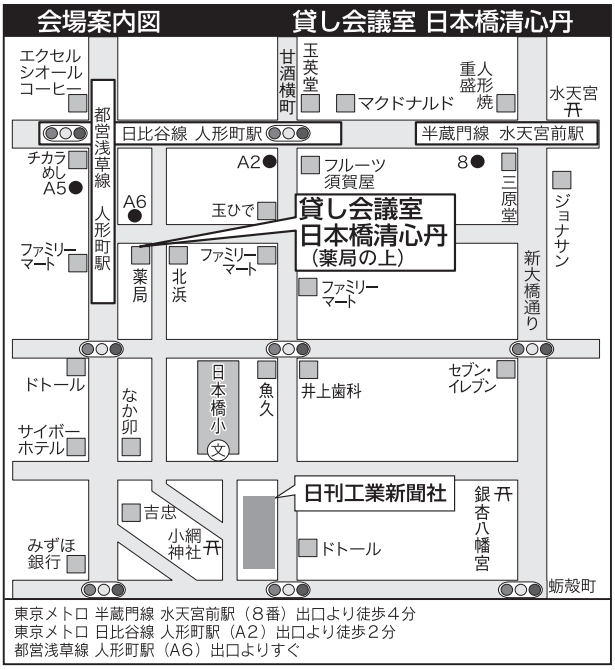
実務セミナー　関連部署にご回覧ください

取扱説明書・マニュアルの作り方

～“わかりやすさ”とは何か？ 構成の基本を習得する！～

日　時：2015年8月5日（水）　13:00～16:00
会　場：貸し会議室 日本橋清心丹
受講料：21,600円（資料含む、消費税込）
主　催：日刊工業新聞社



貸し会議室 日本橋清心丹
東京都中央区日本橋人形町1-4-10 人形町センタービル2F
【アクセス】
東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩2分、都営浅草線『人形町駅』A6出口よりすぐ
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

●申込方法

お申し込みはWeb（http://www.nikkan.co.jp/edu/semi/top.html）かFAXまたは郵送にて受け付けております。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。受講料は銀行振込にて開催日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの受講料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担ください。

口座名義				
㈱日刊工業新聞社	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱東京UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申 込 先　日刊工業新聞社 業務局 業務推進部 技術セミナー係
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1（住生日本橋小網町ビル）
TEL 03（5644）7222　FAX 03（5644）7215
e-mail：j-seminar@media.nikkan.co.jp

キリトリセン

受講申込書

8/5 **取扱説明書・マニュアルの作り方**　お申し込みは FAX **03-5644-7215**

■受講料：21,600円（資料含む、消費税込）　※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL：
所在地	〒		FAX：
	E-mail：	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックをしてください。	□

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。
※一度お振込みいただいた受講料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

No.150062

個人情報の取り扱いについて
ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。　【ご連絡先】日刊工業サービスセンター　情報事業部　nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

取扱説明書（トリセツ）は、使用者に対して製品の機能や操作手順を示すものです。正しく・わかりやすくなければ、その製品の持つ特長、良さも伝わりません。あくまでも使用者の立場になって考えることが前提ですが、一筋縄ではいきません。

90年代の製造物責任法（PL法）施行により使用上の注意喚起がますます重要視され、各社ともトリセツの作成時に様々な工夫を取り入れております。

本セミナーでは、マーケティングとトリセツ制作会社として長年の実績をもつ株式会社ハルの久保氏を講師に招き、トリセツ作成時の基本と、製品使用者へわかりやすく伝えるためのポイントを、事例を交えて解説していただきます。是非この機会に皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

講　師

株式会社ハル　執行役員　テクニカルディレクター　**久保　達昭** 氏

【略歴】 会社案内は会社を説明したもの、カタログは商品の特長や強みを説明したもの、履歴書は自分の歴史を説明したもの、というように世の中には取説が溢れかえっています。「取説がなければ世界は回らない。」が信条のテクニカルディレクター。入社以来20年に渡り、農業機械やオフィス家具、家電の取扱説明書の制作を担当。
特に、組み立て・施工マニュアルの企画・構成、説明用テクニカルイラストの作成（イラストのアングルや角度の決定）に注力。インターネットの普及や商品の高機能化といった、技術や表現方法が目まぐるしく変化する昨今においても変わらない「わかりやすさ」を追求し、BtoBにもBtoCにも応じた最適な「取扱説明書」を提供し続ける。

専門分野
・取扱説明書制作に関わる業務全般　・取扱説明書の企画・構成　・制作に関わるワークフローの構築
・取扱説明書メディア提案　・取扱説明書診断

株式会社ハル　URL：http://harugakita.co.jp/

プログラム

1.取扱説明書の種類
a. マニュアルとは？
b. マニュアルの種類
c. 取説とは「マニュアル」の一種

2.取説の役割
a. 安全喚起の時代
b. CS（顧客満足）の時代
c. マルチメディア化の時代
d. これからの役割

3-1.わかりやすさの正体

3-2.わかりやすい表現のために
a. 心得
b. 情報整理
c. 構成の基本

4.構成の基本
a. 取説に必要な情報
b. 製作工程
c. 企画のために
d. 構成作成の手順
e. ルール
f. 表現設計
g. ページの構成要素

5.取説のUD（ユニバーサルデザイン）のために
a. メディアUDの5原則
b. UD化のポイント

6.まとめ

7.事例紹介